

東京藝大の研究生が実習ゼミ

町長とまちづくり意見交換会も

熱海市泉のクレアーレ熱海ゆがわら工房で、今月13日(月)から17日(金)まで、東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻壁画研究分野壁画研究室の学生10

名が、授業の一環としてインターンシップによる壁画実習ゼミを実施する。

同ゼミの中で最終日の17日、午後1時から湯河原のまちづくりにつ

て富田幸宏町長と意見交換会を行なう。

交換会には富田町長のほか湯河原温泉旅館協同組合理事長で湯河原温泉まちづくり協議会会長でもある山本一郎氏(ふきや旅館)と伊豆湯河原温泉観光協会会長でまちづくり協議会副会長の渡邊

宗男氏(川堰苑いすゞホテル)及び工藤晴也東京藝大

教授、藤原俊同大教授、藤原俊同大室学生10名、クレアーレ熱海ゆがわら工房スタッフが参加し、ふきや・いすゞホテルの協力による温泉入浴体験や実習ゼミを踏まえて、湯河原のまちづくりにつ

いて学生の意見を聞き、町長と意見を交わす。

また、5日間の実習ゼミでは、クレアーレ熱海ゆがわら工房がパブリックアートとして設置予定のステンドグラス・陶版作品の制作工程の一部を工房スタッフと一緒に学生が制作に加わり、設

置施設との関係、原画からパブリックアートへの翻訳作業な実習授業となる。実習ゼミ日程は、13日の講義(壁画表現・ステンドグラスと陶板

レリーフ・マネージメント)や工房見学から14・15・16日の3日間の実習、17日の全体講習と意見交換会。